



清流の国 輝くギフジョ 支援プロジェクト

平成28年度 第2回リーダーシップ研修 日本薬学会東海支部特別講演会

研究がくれた化合物の縁、人の縁

膜タンパク質膜挿入の鍵を握る糖脂質 その構造と機能

日時

平成28年

11/11 金

16:00~17:30

参加費
無料

場所

岐阜薬科大学本部
大学院講義室

Profile

1986年大阪大学大学院理学研究科有機化学専攻博士前期課程修了。同年(財)サントリー生物有機科学研究所入所。2001年主任研究員、2007年主幹研究員、現在に至る。1992年博士(理学)取得。2006年山崎貞一賞(バイオサイエンス・バイオテクノロジー部門)、2014年第31回日本化学会学術賞。研究テーマ:ちょっと変わった形の糖、脂質、アミノ酸の合成。



講師 島本 啓子 氏

公益財団法人サントリー生命科学財団
生物有機科学研究所・主幹研究員

講演概要

膜タンパク質が機能を発現するには、細胞内のリボソームで合成されたタンパク質鎖が正しい三次元構造と配向性をもって細胞膜へ挿入される必要がある。我々は大腸菌の内膜への膜タンパク質挿入の過程に、新規の糖脂質MPlaseが関与していることを見出した。酵素様の活性をもつ糖脂質MPlaseの構造決定と作用機構について述べる。

主催:  国立大学法人 岐阜大学  岐阜薬科大学  岐阜女子大学  アピ株式会社

お問い合わせ先



岐阜薬科大学 ダイバーシティ推進室 〒501-1196 岐阜市大学西1-25-4

Tel: 058-230-8100 Fax 058-230-8105 e-mail: diversity@gifu-pu.ac.jp